

科目責任者 山田 俊二（健康運動科学研究室）

■教育目的

医療人の教養ともいえる心肺蘇生法を修得するとともに、高齢者模擬体験や障がい者模擬体験を通して、他者を思いやる気持ちを育成することが第一の目的である。そして、身体的のみならず社会的、精神的な側面からみても健康でいられるように、レクリエーションなスポーツ活動の集団的な実践体験を通して、生涯に亘り健康的な日常生活を安全、かつ習慣的に営む態度を形成することが第二の目的である。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、SD-④】

■学習到達目標

1. 心肺蘇生法を修得し、心肺蘇生が必要となる場面に遭遇したときに適切に行動できる。
2. 高齢者・障がい者模擬体験を通して、他者へのいたわりと具体的な配慮ができる精神を養成する。
3. 健康体力づくりに有効な運動の実践を通して、日常生活を身体的・社会的・精神的に健康的なものにする態度や習慣を獲得する。

■準備学習（予習・復習）

高齢者模擬体験と心肺蘇生法（CPR）では、本学マイキャスト上に、授業用プリントやフォローアップ・トピック等を掲載するので、授業前にチェックする必要がある。

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	(3 限)	オリエンテーション	
//	(4 限)	講義（心肺蘇生法（CPR）などについて）	
2	(3 限)	クラスを全 10 班に分け、高齢者模擬体験とテニスは各 2 班が、卓球とバドミントンは各 3 班が実施する。	A (1)-①-1 A (1)-①-5 A (1)-②-1
//	(4 限)	班毎に実施種目をローテーションし、上記と同様に実施する。※ローテーション表はオリエンテーション時に配布、説明する。	同上
3	(3 限)	同上	同上
//	(4 限)	同上	同上
4	(3 限)	高齢者の最終回	同上
//	(4 限)	スポーツ種目のみ	同上
5	(3 限)	2・3 班が CPR、テニスは希望者、卓球とバドミントンは各 3・4 班が行う	同上
//	(4 限)	同上、ローテーションで実施	同上
6	(3 限)	同上	同上
//	(4 限)	同上、CPR 最終回	同上
7	(3 限)	スポーツ種目のいずれかを選択して実施する。（兼 CPR 補追演習枠）	同上
//	(4 限)	同上、種目毎に「終了式」	同上

■授業分担者

- A 組（金曜日）山田俊二、木下茂昭（非常勤講師）、高階曜衣（非常勤講師）、遠藤祐輝（非常勤講師）
 B 組（火曜日）山田俊二、布施沙由理（非常勤講師）、目黒拓也（非常勤講師）、植松雄大（非常勤講師）
 C 組（木曜日）山田俊二、目黒拓也（非常勤講師）、乳井勇二（非常勤講師）、高尾尚平（非常勤講師）

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

学習態度（70 %）および課題レポート2件（30 %）で総合評価を行う。ただし、レポートは高齢者模擬体験、心肺蘇生訓練に参加していなければ提出することはできない。また、レポート未提出者は評価の対象外となる。

■その他

出席が学則の定める条件（実習に準じる）を満たさない学生は失格となる。なお、2 年次にこの演習を再履修する時間枠が無いことに留意されたい。